



平成26年度 物理学科 冬の談話会

日時: 12月18日(木) 16:30~18:00

場所: 本館1階H111講義室

「弦理論とM理論」

講師: 今村 洋介 氏

(東京工業大学大学院理工学研究科・准教授)

素粒子の間の相互作用は、ゲージ理論によって記述されることが知られています。そのため、ゲージ理論の性質を理解することは、素粒子論における重要な課題となっています。

弦理論はもともと、ゲージ理論、特に強い相互作用を理解するために、考案された理論であり、現在でもゲージ理論を解析するための手法として利用されています。また、「弦」ではなく「膜」を基本要素とするM理論もゲージ理論の解析に重要な役割を果たしています。

本講演では、弦理論やM理論とはどのようなものか、それらがどのようにゲージ理論の研究に役立つかということをごできるだけわかりやすく解説したいと思います。



物理学科忘年会

談話会終了後、物理学科の忘年会を開催致します。

場所: 本館2階284号室 (物理学科輪講室)

会費: 教授・准教授は支払済、その他教職員(1,000円 会場で徴収)、学生(無料)